

令和4年度 高齢者の肺炎球菌 予防接種の助成について

1. 助成実施期間

4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

2. 助成対象者

4月1日から令和5年3月31日までは、以下の方が対象となります。

対象者には「**説明書**」「**予診票**」を4月中に郵送いたしますのでご確認ください。

(1)65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方

65歳となる方	昭和32年4月2日生～ 昭和33年4月1日生
70歳となる方	昭和27年4月2日生～ 昭和28年4月1日生
75歳となる方	昭和22年4月2日生～ 昭和23年4月1日生
80歳となる方	昭和17年4月2日生～ 昭和18年4月1日生
85歳となる方	昭和12年4月2日生～ 昭和13年4月1日生
90歳となる方	昭和7年4月2日生～ 昭和8年4月1日生
95歳となる方	昭和2年4月2日生～ 昭和3年4月1日生
100歳となる方	大正11年4月2日生～ 大正12年4月1日生

(2)60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方(身体障害者手帳1級相当)

※過去に1回でもニューモバックスNP(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)を接種されたことがある方は、助成の対象外で、全額自己負担となります。

●問い合わせ先=医療介護課健康増進係 ☎72-0333

3. 助成対象者の自己負担金

2,500円(生活保護世帯は生活保護受給証明書を提出すれば無料。ただし、過去に1度でも接種されたことがある方は対象外)

4. 委託医療機関以外での 予防接種について

■実施医療機関(予約が必要な医療機関がありますのでご注意ください)

医療機関名	電話番号
はなぶさ消化器・内視鏡クリニック	74-1187
県南病院	72-0224
いな内科・循環器科	71-1711
とめのファミリークリニック	76-1425
串間中央クリニック	27-3181
アイレHDクリニック串間	55-8181
ゆうゆうの森クリニック	55-9111
のだ小児科医院	71-1112
吾社クリニック	71-3411
串間市民病院	72-1234
市木診療所	77-0349

※県内であれば上記以外でも受けられる医療機関があります。予防接種助成を行えるか、直接医療機関にお問い合わせください。

※必ず「説明書」をご覧になってから、接種するようにお願いします。

※ご不明な点があれば下記問い合わせ先までお問い合わせください。

健康課題や串間 市民病院について ご紹介します！

健康
マメ
知識



えとう としはる
院長 江藤 敏治先生

医学博士・内科医・公認心理師・労働衛生コンサルタント

【略歴ならびに活動内容】

1962年串間市生まれ。1989年宮崎医科大学卒業。
1994年から3年間ハーバード大学医学部で研究。
1999年串間市民病院内科部長、2002年宮崎大学准教授、
2013年宮崎県立看護大学・大学院教授、2020年4月から現職

皆さま、こんにちは。串間市民病院の江藤敏治です。いつも串間市民病院が大変お世話になっております。串間市民の病気の予防と健康増進のために日々体と頭を使っています。私事ですが、ありがたいことにこの4月に母校宮崎大学医学部から病院臨床教授を拝命いたしました。串間市が笑顔溢れる街になれるようにますます頑張ります。また、先日は花き農家さまからすばらしいフラワーアレンジメントを頂きました。病院のロビーでわれわれのみならず患者さまの癒やしにもつながっております。今回は串間市の健康課題についてお話しします。

先月、宮崎県立看護大学・中尾裕之教授の研究チームと串間市の健康課題を分析しました。串間市民の生活習慣の特徴として

- ①運動習慣が少ない
- ②間食が多い
- ③夕食時間が遅い
- ④毎日飲酒

が挙げられます。その結果、男女とも糖尿病、高尿酸血症(痛風のもと)が多く、これらは血管を傷つけやすい状態となっています。特に女性は高血圧も他の地域より多いことから

脳出血の発症率も高くなっています。また、入院費の分析から胃がん、大腸がん、食道がん、乳がん、子宮頸がんが多いことも分かってきました。串間市民の健康課題は

- ①健診未受診
- ②病院未受診
- ③がん検診未受診

の3未受診です。1度も病院にかかったことがないという方は、ぜひ最寄りの医療機関か串間市民病院を受診してください。職員は親身になって相談に乗ります。みな優しいですよ。安心しておいでください。

私は毎週日曜日、夕方5時からのMRTRAジオ番組「ドクター江藤のミュージックサプリ」で、健康に関するいろいろな情報をお話ししています。ぜひお楽しみください。そして新しくできた「道の駅くしま」や公民館にも講演に行きます。来てほしいという方はぜひ串間市民病院までご連絡ください。

最後に、この4月から念願だった麻酔科の医師と救急の医師が来てくれました。救急の先生は麻酔科の専門医でもあります。お父さまは串間市出身だったとのことで串間まで縁をつないでいただきました。感謝です。お2人ともそれぞれの分野の指

導医でもあります。今回の2名の先生を始め、現在当院で働いてくれている先生方はいずれも優秀で温かい先生ばかりです。私の故郷でもある串間の医療を何とか支えたいという気持ち一つで来てもらっています。ここで皆さまにお願いがあります。

串間市民病院は24時間体制で患者さまに対応していますが、時間外救急で来られる患者さまの中には「1週間前から調子が悪かったが仕事が忙しくて病院に来ることができなかった」という方もおられます。救急対応の医師は人員不足もあり翌日から朝から連続勤務です。夜間は応急対応が中心で十分な検査もできませんので、日頃から調子が悪いときはぜひ昼間に来てください。地元出身の私にとっても辛いことですが、これまでも串間市民病院が医師に敬遠されてきた背景は、宮崎市からの距離もあります。宮崎市から距離もありませんが、あまりにもハードすぎる夜間救急外来であるといわれております。皆さまに「いい先生が来てくれて安心だ、うれしい」と思っていただけと同時に、ここに集まってくれた医療スタッフが「串間に来てよかった」と思ってくれるように私も精いっぱい努力します。皆さまどうぞよろしくお願いたします。